

「小浜島の漁業について」

島嶼文化教育コース 2年次 田中 希

調査項目一覧

- 1、なぜ漁業が盛んになったのか、その歴史
- 2、漁業に関わる人数
- 3、漁場について
- 4、どんな魚が捕れるのか
- 5、漁法について
- 6、魚の出荷先
- 7、専業と兼業の違いと、1年を通しての仕事内容

1、なぜ漁業が盛んになったのか、その歴史

(1) 歴史（文献から抜粋）

小浜島の細崎集落は、1910年ころから自由入植した沖縄本島糸満系漁民や半農半漁の人々によって創設された。沿海漁業の適地とされ、1918年ころから鰹節工場が設置され、最盛期には、細崎と東細崎を合わせて、鰹船が13隻あり、鰹節製造工場も13ヶ所あった。¹

細崎に最初に住みついたのは、糸満出身の屋号・ナビサグアで次いでナビサのジルー（俗称）がそこに住むようになった。ここで鰹節製造工場を経営するようになった時、鰹節削り人など人手が必要になり、沖縄本島にも人探しに出かけ、以後どんどん人が増えてきたという。²

(2) 現在は？

鰹漁の盛んな時は活気があったが、ここ数年は衰退化しているのが現状である。原因は、所得減による漁業離れ・後継者の不在である。

1) 漁民の所得減の理由

- ・天然漁の減少による漁獲高減（乱獲が一番の原因だが、土地改良やホテルの建設による海の汚染からくる魚の生態系の変化も大きな原因）
- ・流通過程の発達による海産物の逆入（他島産・県外産・国外からの輸入物）
- ・養殖物の流通過程の不備と技術の未熟

2) 後継者不在の理由

- ・ 所得減による漁業の廃業
- ・ 都会文化へのあこがれから、島外へ移住し他業種を選択する若者の増大

～漁業衰退への対策として～

自分たち以降の世代にまで資源を残せるような漁法・養殖方法を検討中とのことである。将来のことを見据えた上での、漁師の意識改革が始められている。

2、漁業に関わる人数

- (1) 漁業協同組合員（正組合員・準組合員合わせて）・・・22名（八重山漁業協同組合への問い合わせによる）
- (2) 登録漁船・・・28隻（八重山支庁農林水産振興課への問い合わせによる）
* 組合員数と登録漁船数にズレがあるのは、1人の漁師が複数の船を持っている場合もあるからである。

3、漁場について

小浜島近海だが、漁法によって多少変わる。以下に漁法ごとの漁場をまとめる。

- 刺し網漁・・・西表島周辺
- 定置網漁・・・西表島・小浜島周辺
- 籠網漁・・・小浜島～パナリ島の間
- もずく養殖・・・小浜島周辺
- しゃこ貝養殖・・・小浜島の東側周辺

4、どんな魚が捕れるのか 方言名（和名）

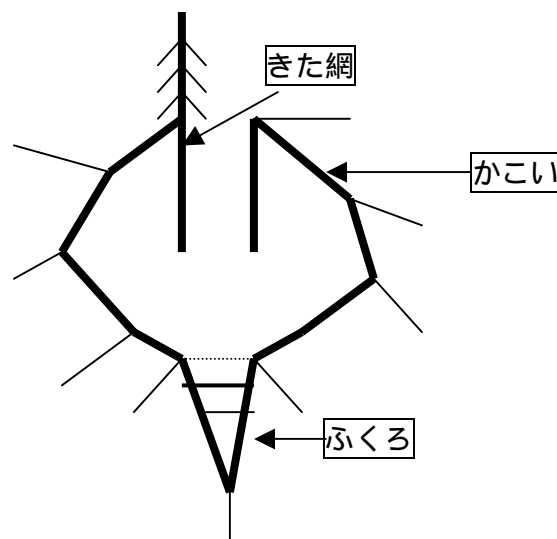
刺し網漁	<ul style="list-style-type: none"> エーグワー（アイゴ） アカイチャーor シルイチャー（アオリイカ） クブシミ（モンゴイカ） クチナギ（イソフエフキ） イラブチャー（ブダイ類） タマン（ハマフエフキ） 	籠網漁	ミーバイ（ハタ類）
			アカジン（スジアラ）
			ガサミ
		定置網漁	アカイチャーor シルイチャー（アオリイカ）
			クブシミ（モンゴイカ）
			エーグワー（アイゴ）

5、漁法について

刺し網漁・定置網漁・籠網漁

- (1) **刺し網漁**・・・魚の通り道に網を仕掛けて捕る漁法。二枚網と三枚網がある。いったん魚が刺さると絶対に逃げられないので、三枚網は地獄網ともいう。資源を維持するため、6月～9月の間は三枚網の使用が禁止されている。満潮時に石をおもりにし、上部にブイをつけた網を仕掛け、干潮時にモリ(方言名:イーグン)で網に刺さった魚をで突く。船を操縦する人、網をあげる人、網に引っ掛かったサングを切り離す人、の通常3人1組で行われる。
- (2) **定置網漁**・・・決まった場所にしばらく網を仕掛けて魚を捕る漁法。網を洗うために、個人差はあるが、2週間に1回もしくは月に1回程度で引き上げる。網が汚れていると、魚に仕掛けがばれてしまうので、網をきれいにしておくことはかなり重要である。夏場は台風が多いので、仕掛けられない。主に10月～5月の間に行われる漁法である。

～定置網を上から見た図～

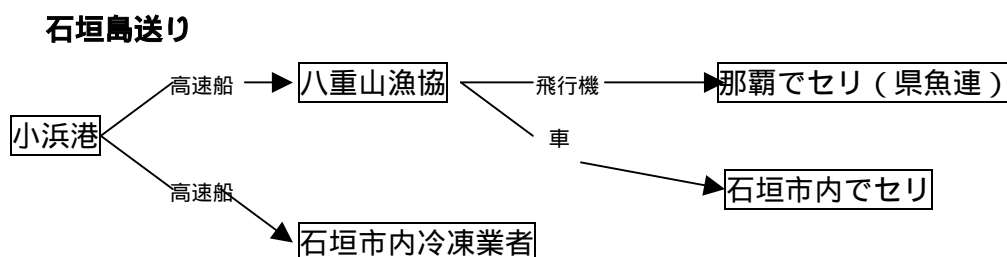


入り口から魚が入ると網の中を回遊し、最終的にはふくろの中に閉じ込められる構造になっている。

(3) 籠網漁

- ・ 魚を捕る場合・・・ティールグラーという籠網を使う。円形の籠網で、中心に餌（カツオ）を入れる穴があり、魚もそこから入る。魚は網にそって泳ぐ習性があるので、一度ティールグラーに入るとずっとぐるぐると泳ぎ回っている。網に掛かった魚は漁師潜ってティールグラーの外からモリ（方言名：イーグン）で突いて捕まえる。多い人で1日に80ヶ所位に仕掛ける。魚に畏と悟られないように、沈めた時にティールグラーの周りや上にサンゴや石を置く。
- ・ ガサミを捕る場合・・・ティールグラーとは違った長方形の籠網を使う。マングロ-ブが植生している所などに30~50個仕掛ける。籠の中に餌（魚の骨）を縛り付けて置く。だいたい1年を通して行われるが、9~10月が型の大きいガサミが捕れる。小型だったら海に戻すが、最近では、遊びでガサミを捕っている人たちはどんなに小型のものまで捕ってしまうので問題である。

6、魚の出荷先



島内消費

- はいむるぶし
- 南西楽園
- 個人売り

- ・ **石垣島送り** 小浜港から高速船（八重山観光フェリー）で石垣市内にある八重山漁協へ運ばれ、県魚連（那覇）の場合は飛行機で、石垣市内の場合は車で運ばれる。また、八重山漁協を通さずに、石垣市内の冷凍業者と取引する場合は小浜港から高速船で業者へ運ばれる。
- ・ **島内消費** リゾート施設である「はいむるぶし」や「南西楽園」へ出荷される他、個人売りがある。「はいむるぶし」や「南西楽園」との魚の取引価格は、市場価格のような変動はなく、一定である。近年では、取引量は減少傾向にある。

7、 専業と兼業の違いと1年を通しての仕事内容

(1) 専業

もずく養殖 . . . 3人

刺し網 . . . 4人

定置網 . . . 4人

籠網 . . . 4人

しゃこ貝養殖 . . . 3人

* 専業者の多くは複数の漁法・養殖を掛けもちしている。

兼業

Aさん . . . レジャー（ダイビング） + 刺し網 + しゃこ貝養殖

Bさん . . . レジャー（シュノーケルツアー） + 刺し網、定置網、籠網、

Cさん . . . レジャー（釣り） + もずく養殖、定置網

Dさん . . . レジャー（ダイビング・シュノーケルツアー） + 釣り

* 漁業の夏場は仕事が少ないのでレジャーと兼業している。

~1年を通してどの時期にどの仕事をしているのか?~

・ 定置網、籠網、もずく養殖をしている**専業者**の場合

10月~2月



定置網

7月~1月



籠網

11月下旬~6月



もずく養殖

・レジジャー、刺し網、しゃこ貝養殖をしている**兼業者**の場合

レジジャー



夏場

刺し網



10月～5月

しゃこ貝養殖



1年を通して

¹松村正治 『八重山諸島におけるツーリズム研究のための基礎調査』
<http://future.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/NWS2-index.htm> に加筆

²名嘉真宜勝・出村卓三 (1981)
『漁業・諸職』 名玄書房 P341～342

<謝辞> 原慎二さん、大城清一さん、大城健男さん、仲嶺真正さん、比嘉康彦さん
お世話になりました。本当にありがとうございました。